

令和5年度第2回清水町子ども・子育て支援会議
【議事録】

日時 令和6年2月8日(木)18時30分～19時35分
場所 清水町保健福祉センター 2階 会議室

■ 出席者

委員 下坂吉彦 上谷明美 徳山裕貴 永田弘彰 堀敦子 新井田典子 谷口大樹
庶務 寺岡補佐 方川児童保育係長 高橋子育て支援係長
主催 阿部町長
傍聴 無し

1 開 会 〈寺岡子育て支援課長補佐〉

ご案内の時間となりましたので、ただいまから清水町子ども・子育て支援会議を開催いたします。年度末のお忙しいところお集りいただきましてありがとうございます。

この会議につきましては、まちづくり基本条例によりまして、審議会の会議録を公表させていただきます。本日の審議会につきましても、発言者の名前を表示した会議録をまちづくり情報コーナーに、会議の要旨を町のホームページにおいて公表させていただきますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

また、本来でしたらここで町長より主催の挨拶をするところですが、本日は別の公務のため欠席させていただいておりますのでご了承ください。

はじめに会長からご挨拶をいただきたいと思います。

2 会長あいさつ (下坂会長)

あらためましてこんばんは、

大変足元の悪い中、夜分お疲れのところお集まりいただきましてありがとうございます。今年度2回目の子育て支援会議となります。

今日は、第2期子ども子育て支援事業計画の進捗状況と7年度の事業計画策定に向けての説明となっております。子ども子育て事業がより良い事業となりますよう疑問や忌憚のないご意見を出していただき、より実り多い会になりますようどうぞよろしくお願いいたします。

3 議 事

(1) 第2期子ども子育て支援事業計画の進捗状況(資料1~3)

(下坂会長) それでは、早速、議題に進みたいと思います。

一つ目 第2期子ども子育て支援事業計画の進捗状況について説明をお願いします。

(事務局) 【資料1に基づいて説明】

(下坂会長) 資料1に係りましてなにか質疑、ご意見等ありますでしょうか。

(特になし)

(下坂会長) では、資料2の説明をお願いします。

(事務局) 【資料2に基づいて説明】

(下坂会長) 中間調査の後、改善された点について説明がありました。資料2に係りましてなにか質疑、ご意見等ありますでしょうか。

(上谷委員) 3月から給食を提供されるのは令和6年度からということでしょうか。

(事務局) 次の3月、令和5年度と6年度の変わり目のところからということになります。

(上谷委員) わかりました。

(下坂会長) ほかにありませんか。

(特になし)

(下坂会長) では、資料3の説明をお願いします。

(事務局) 【資料3に基づいて説明】

(下坂会長) 保育園留学について説明がありました。好評でありまして色々な相乗効果が表れているという説明でありました。これについてなにかご質問とかもう少し聞いてみたいなということがありましたらお願いします。

(徳山委員) 本当に好評で、たまたま運動会にも重なって子どもたちが喜んでいたと思います。親は、同じクラスに入った時にはわかると思うんですけど、他のクラスに入ったらわからないという感じだったので、保育園的に全面的に推していくと、こんな子いるんだなと全体的にわかると思います。保育園留学してるよ、子どもが入っているよというのがあれば他のクラスの子どもも分かるし親も分かるかなと思う、玄関にこういう子が今いるよというお知らせがあると違うのかなと思います。

(事務局) 利用者さんに「いいよ」という了承が得られたら〇〇組になにちゃんが来ているよというお知らせをできるかと思います。

(徳山委員) そうですね。個人情報なので了承が得られればですね。やっている

- よという効果も得られると思います。
- (下坂会長) よろしいですか。付随して何かありますか。
- (永田委員) 保育園留学って他の町村もやってるのですか。
- (事務局) 北海道では厚沢部町さんが第1号で、清水町が始めるときには、近いところ、十勝管内では上士幌町が同時に始めましたね。ニュースで取り上げられて道内でも増えているようですが、他には九州など全国的に受入れをしているところがあるようです。浦幌町もやっています。
- (永田委員) 資料に全国27か所とありますね。仲介業がやっているのですか？
- (事務局) そうですね。
- (上谷委員) 費用的な内訳で言うと、利用者さんが仲介サイトに払います、そこから体験住宅料と保育料をお支払いいただいているというような？
- (事務局) そうですね。パッケージの料金が決まっています…
- (上谷委員) お高いですよね？
- (事務局) 町は、1時間300円の一時保育料と移住体験住宅の使用料をいただいています。
- (上谷委員) これは御影はやっていない、清水だけ？
- (事務局) はい、清水だけです。
- (上谷委員) 移住体験住宅が清水ですもんね。
- (事務局) 車を持ってこない方がほとんどですので歩いて通えるところということで。私たちにとって距離があるかなと思っても、都会の方たちは徒歩圏内に園があってスーパーがあって生活しやすいですということですね。
- (上谷委員) 冬もいらっしゃってますけど、除雪とかは？
- (事務局) 目の前の道路は除雪が入りますが、軒先などはそれも体験ということで。ボブスレーを引いて登園したり、住宅に備え付けの自転車で登園したりが楽しかったという方もいます。
- (上谷委員) むこうは電車なんでしょうね。私たちが忘れていた感動を、ということですね。
- (事務局) ご兄弟が御影小学校を利用されることもあるんですよね？
- (谷口委員) 13日から登校することになっていますが下の子がこども園を利用されるかはわかりません。というのは御影なので。御影と清水は距離があるので。
- (事務局) ホッケーの関係でということでしたね。以前も御影のお子さんたちと交流があったようですね。

(上谷委員) 移住してくれるといいですね。ふるさと納税とか。
(下坂会長) 色々体験して感動して帰ったらそういうこともあるんじゃないですか。広めてもらったらいいと思います。保育園留学にかかわってはよろしいですか。資料1, 2, 3の進捗状況にかかわってはございますか。
(特になし)

(2) 第3期子ども子育て支援事業計画について

(下坂会長) では次に第3期子ども子育て支援事業計画についての説明をお願いします。

(事務局) 【資料4に基づいて説明】

(下坂会長) 第3期子ども子育て支援事業計画についての概要やスケジュールについてご説明がありました。なにか不明な点や確認したいことがありましたらお願いします。

(上谷委員) アンケートはオンラインですか？紙ですか？

(事務局) 今迄については紙でした。予算のことがあるのですが、まだ具体的には決まっていなくて、今の感じだと紙になっていくのではと思います。

(上谷委員) 紙だと回収率はどれくらいでした？

(事務局) 前は50ってないくらいですね。

(上谷委員) ですよ。紙だと。オンラインだとやりやすいので、漏らさず回答できるかなと思いますが、予算の関係があるのならね。

(事務局) そうですね。まだ決まっていないというところです。

(下坂会長) 委託業者さんは何をされるんですか？

(事務局) 子どもの計画以外にもいろいろな町の計画があるのですが、それを絡めながら、法律等にも詳しい研究員・調査員を派遣してくれて計画を策定してくれます。人口や出生数の推移とか、こども園の利用はどれくらいになるのか、アンケート結果の分析もして素案を作成して、この会議で皆さんに今後の5年間はどのような取組をするかというご説明するという感じですね。

(上谷委員) このデータはこの計画だけでなく、出生数の予測やこども園利用の予測などは他のことにも使われたりするのですか？

(事務局) データとしては、この計画だけだと思いますが、細かい数字が載ってくるので、それを見ながら他のことにも使えるとは思いますが。

(下坂会長) データからある程度こういう方向に進んだらいいとか方策が良いとかいうことで、それを基に町の計画を立てて、アドバイスをもらいながら作っていくということですね？

(事務局) そうですね。子ども家庭庁ができ、色々法律も変わってきているの

で、それに合致した計画、国で決まっているからこの部分は盛り込みなさいとか、あとは町の子どもの人数、施設の設置数などの見込みですね。

- (下坂会長) 子ども大綱を読み込むだけでもね。それだけじゃないですよ。
- (事務局) 子どもの貧困、ヤングケアラー、虐待なども…。委託でお願いしようということになりました。
- (谷口委員) 来年1年で作るということですよ。大変ですね。
- (下坂会長) 7年度からのということですね。
- (事務局) 令和7年から11年までの計画ということですね。
- (下坂会長) 他にありませんか？

(3) その他

- (下坂会長)
- (上谷委員) 私、こども園の代替をしているんですけど、皆さんご存じかわからないですが、今度代替の雇用のしくみが変わってくるんですけど。もうちょっと働きたいんだけど時間数が(制限される)っていう…。103万の壁、130万の壁とかいうぎりぎりまで働けないのと、保障とかがよくなりますというのを選んで働くということなんですけど、もう少し働きたいのに働けない、現場も人が足りないことにギャップがあると思うんですけど。これは町全体の政策になっているのですか？子育て支援関係だけの？
- (事務局) 町全体のことでないのですが、1号任用という働き方が、主にこども園関係の方ということがあります。具体的には(働ける)時間が短くなる方がいます。こういう計画に係ることではなくて103万の壁とか、社会保険に加入する要件とか、手当が出る要件とかを踏まえて、それが出る方と出ない方の働き方をある程度はっきり分けないと数時間の差で手当が出ない方が出てしまう状況になりかねないですよ。差をはっきりさせるために日給の方とこれまで通り時給の方に区分させていただいたということです。
- (上谷委員) その区分に皆さん戸惑っていて、働けないんだったら違うところへ行こうかなという声もあり、人手が足りないのだったら辞めてしまう人がいると現場が困るのではないかと思うので。
- (事務局) 4月からのことなので、やってみないと、というところもあるのですが…
- (上谷委員) 60時間だと20時間減ってお金にすると(月収が)6万円に減る。ぎりぎりまで働きたいと言っています。

- (谷口委員) 1号さんというのは、待遇は町で同じですか？
- (事務局) 会計年度職員の1号の時給は、業務ごとに違いはあります。調理の方と保育の方というような。資格の有無でも若干変わります。
- (谷口委員) 職種で時給が違うけど1号の方が働くシステムは町で一緒ということですか。
- (事務局) その通りです。ただ、60時間とそれ以外に分けるというのは保育業務の方についてです。学校などは別です。
- (上谷委員) 今まで80時間働いていたのが今度60時間になることへの戸惑いですね。20時間減ることに戸惑っている方が多い。他のアルバイトをして補填しないとかならないかなと言っている。
- (事務局) そういう方は、週3勤務は選べない？
- (上谷委員) そうですね。扶養の中でぎりぎり働きたい。
- (事務局) 皆さんにぎりぎりまで働いていただいて今まで助かってきたと思います。雇用側としては社会保険に加入したり、大きいのは手当を支給できるということですね。60時間以内の方とはっきり分けてより条件の良い働き方をしてもらえるとこの思いでした。でも、お話を聞いて実状と合わないところもあるなということがわかりました。
- (上谷委員) たくさんの方が働いて現場は助かっていると思う。人が減って困らなければいいなと思います。
- (谷口委員) まだ変えられたりするんですか？小学校は違う、保育の方だけの条件というのなら、減らさずに働けるように変えたらいいんじゃないかなと思うのですが。
- (事務局) 保育職場だけ全員が60時間以内で働くということではなく、希望を取って週3か週4で働いてもらって手当てや保障の条件が良くなる働き方のどちらかを選んでくださいということです。国もパートさんの条件をよくするよということ、より良い条件を提示して選んでいただけるように。
- (谷口委員) そうなことなんですね。
- (事務局) 説明がわかりにくくてすみません。
- (上谷委員) そうですよ。みなさんは知りえないことですよ。
- (下坂会長) よろしいですか？
- (3) その他
- (下坂会長) その他でなにかありましたらお願いいたします。

- (上谷委員) 今、御影支所に大谷翔平くんから送られたグローブが展示されていると聞いたんですけど、展示より町内のこども園や中学校の子どもたちに触らせたり使わせてもらったりすることはできないのかなと思ひまして。どのあたりから展示すると決まったのですか？ちょうど校長先生がいらっしゃるので。
- (谷口委員) 本来、展示の必要はないのですが、せっかく来たので学校の子どもたちが一通り触った後で、冬休みの作品展と一緒にどうぞということで置いています。ずっと置いておくわけではなくその後使わせていただきます。こども園は支所とすぐ近くなので支所で見てもらっていいと思ひます。ただ今言われたことは、僕一人で決められることではないので、持ち帰って相談しますが、清水はどうしているのですか？
- (下坂会長) うち、一クラスずつ回したんですよね。そのあと体育の授業がメインになるんですけど、そのほかでどのように使っていこうかということ先生方の意見を聞きながら考えていこうかなというところですね。使ってもらいたいという意向だと思ひますよね。
- (上谷委員) 機会があればこども園、中学校、高校の生徒みんなが触れるような、投げて使ってみるよう検討いただければいいなと思ひます。
- (徳山委員) 高齢者施設にもぜひ。
- (上谷委員) 管轄は町ですか？学校ですか？
- (下坂会長) 学校ですね。
- (谷口委員) 希望制なんですよ。申し込まなかったらもらえない。
- (下坂会長) サイズも小さいんです。低学年向き。自分も手を入れてみたんですけど高学年にはぎりぎりかと。左利き用は少し大きいサイズです。
- (上谷委員) じゃあ、こども園にぜひ。
- (徳山委員) 少年団で使っている様子はインスタで見れますよ。
- (下坂会長) この後、道からボールが2個くらい希望すればもらえます。

4 その他

- (下坂会長) その他で事務局から連絡等ありますでしょうか。
- (事務局) 事務局からは特にありません。
- (下坂会長) みなさんからは何かありますか。
- (徳山委員) 欠席の連絡なんですけど、こども園はアプリでできる。小学校は難しいのでしょうか。共働きの多く、統一されればありがたいと思ひますが。
- (上谷委員) 高校は先生の業務負担軽減のためには Google フォームでできるよ

うになってますね。

(事務局) この会議でそのようなご意見があったことは町教委に伝えておきます。

(下坂会長) 土幌町はラインでやっているようですが、町教委に聞いてみます。その他ありませんか？よろしいですか？

(特になし)

(下坂会長) では、これですべての議事を終了しました。

4 閉 会

(事務局) 円滑に進めていただきありがとうございました。委員の皆様には2年の任期最後の会議ということで、たくさんのご意見をいただきありがとうございました。次年度は、第3期子ども子育て支援事業計画の作成のために委員の皆さんにご協力いただくこととなります。小学校の校長先生、父母の会の会長さん、主任児童委員さんは、あて職となっておりますので入れ替わりがあった際は引継ぎをお願いいたします。みなさん2年間大変ありがとうございました。また、引続きご協力をお願いいたします。本日はありがとうございました。